

平成25年度 麻溝地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	「あさみぞ探訪マップ」作成事業 [1]
申請団体	麻溝観光協会
事業目的等	<p>事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度に観光協会を中心に、麻溝地区の健康づくり普及員、文化財調査・普及員、自然観察員などの協力のもと作成した「あさみぞ探訪マップ」を一部内容を修正した上で再版する。 <p>事業の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源等の再発見 ・地区内外の方への麻溝地区の魅力発信 ・地域活動団体や地域住民の交流促進及び観光振興
交付決定日	平成25年 8月 5日
交付決定金額	893,000 円 (全体事業費 893,235 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度に当協会を中心に麻溝地区の健康づくり普及員、文化財調査・普及員、自然観察員などの協力により作成した「あさみぞ探訪マップ」を同一メンバーの協力のもと一部内容を修正し、平成24年度に引き続き再版した。 ・当該マップの配布は、地区内のまちづくりセンター・公民館・原当麻駅などの公共施設にて継続的に配布を行っている。 ・再版部数 10,000部 <p>自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該マップは、麻溝地区の観光資源などを地区内外の人に情報提供するのに非常に有効なものであり、当協会や地区の発展につながるものであると考えます。 ・このマップを地区内の団体などが事業に活用することにより、地区の魅力を再認識し、郷土愛の醸成につながると考える。 ・麻溝地区の魅力発信に関する今後の事業展開に向けて、マップの編集に協力いただいた団体と連携・協力関係を強化することができたことは非常に有意義なことだった。
市 評 価	<p>麻溝地区の地域資源を再認識、再発見していただくには、見やすさ、質感等が非常にすぐれており、駅や南区のイベント等で配布するとすぐなくなるなど、好評をいただいているマップである。</p> <p>また、このマップを活用したハイキング事業についても、他の地域の方からも麻溝地区の歴史、史跡、自然の多さを知っていただく良い機会であると好評であることから、継続的な事業の実施を期待するものである。</p>
備 考	

申請事業名	“いいまち あさみぞ” 安心見守りプロジェクト推進事業 [2]
申請団体	いいまち あさみぞ 安心見守りプロジェクト実行委員会
事業目的等	<p>事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域から孤立する人、見守りを必要とする人などに対して、地域住民全体でゆるやかな見守りと(救急、災害など)緊急時の対応や継続的・個別的な見守りなどの必要性を共有するとともに、地域福祉にかかる様々な団体・活動などを連携させて、具体的な事業を展開するもの。 <p>事業の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域から孤立する人を見逃さない ・継続的・日常的な見守りが必要な方を確実に見守る ・緊急対応や専門的な支援が必要な方に対して適切な対応を行う
交付決定日	平成25年 8月 5日
交付決定金額	170,000 円 (全体事業費 352,356 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 プロジェクト周知、気付き啓発事業 地域住民全体に見守りプロジェクトに取り組む必要性や、隣近所の気付きの重要性を啓発するチラシを作成し、全戸配布。 ・啓発チラシ(6,800枚)作成(3月) 2 安心グッズ作成・配布事業 緊急連絡先、かかりつけ医などを記入できるカードや災害時に利用できるグッズ(ブザー、シートなど)を安心グッズとして作成し、希望者に配布。 ・安心グッズ希望者募集チラシ(6,800枚)作成及び配布(3月) ・利用者の安心グッズメンテナンスを実施(7月・1月) ・安心グッズを随時配布(新規38件) 3 講演会の開催 私たちが地域でできる「見守りや支援って何だろう?」～身近な地域「安心」をつくる「地区」への注目～をテーマに、県立保健福祉大学准教授 中村美安子氏による講演会を開催。 参加者32名 ・講演会 平成26年3月9日(日)、午後1時30分～3時00分 場所 麻溝公民館 大会議室 ・講演会周知用チラシ(6,800枚)作成(2月) 自治会を通じた各戸配布 <p>自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度から地区社会福祉協議会、民生委員、自治会、老人クラブ等が継続して行っている「地域で孤立しがちな高齢者等をゆるやかに見守る体制」がより充実したものとなった。 ・事業案内チラシの配布については、全戸配布することにより多くの人の目に触れるなど宣伝効果は高いものと考えている。
市 評 価	<p>ゆるやかな見守りについて、継続的に事業を実施することにより、地域住民への周知が図られるとともに、その関心が高まっているものと考えます。</p> <p>また、関係する団体が連携を密にしていることから、その活動の実効性が高いものと評価するとともに、今後も引き続き地域住民の関心が高まるよう事業の継続を期待する。</p>
備 考	

申請事業名	麻溝地区自治会連合会加入促進事業	[3]
申請団体	麻溝地区自治会連合会	
事業目的等	<p>事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民に自治会の重要性を理解してもらえよう自治会活動を広く周知するなど、自治会の加入促進につながる事業を実施するもの。 <p>事業の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会活動の周知 ・自治会未加入者の加入促進 	
交付決定日	平成25年 9月24日	
交付決定金額	527,000 円	(全体事業費 623,620 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>地域住民に自治会の重要性を理解してもらえよう自治会活動を広く周知するなど、自治会の加入促進につながる事業を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自治会加入促進チラシ作成・配布 自治会活動を紹介したチラシを作成し、地区内全戸へ配布し加入促進を行った。 (チラシ作成:10,000部、全戸配布:6,231戸) 2 ごみ集積所自治会設置看板の製作(作成数:150枚) 自治会が管理している周知を図るための看板を製作した。 3 折りたたみごみ収集カゴの設置 ごみ集積所の美観を保つ為の折りたたみごみ収集カゴを設置した。 (大サイズ5台、マンションサイズ3台) <p>自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会活動は、地域住民の相互理解の下、活動が円滑に行われるものである。自治会活動として何が行われ、どのような効果があるのか、こうした活動を広く周知することはそうした相互理解への第一歩と考えている。 ・こうした地道な活動を展開し、多くの住民が参加する自治会となるよう引き続き努めていきたい。 	
市評価	<p>自治会加入促進は、南区内のみならず市全体での課題である。加入を促進するためには、活動を多くの方に理解してもらう必要があり、そのために地区内での全世帯へのチラシの配布は有効であると考えます。</p> <p>また、生活する上で必要なごみ集積所の管理や環境美化に配慮した折りたたみごみ収集カゴの設置など、目にする機会の多いツールを用いた周知活動は、通常の加入促進の活動とは違い効果が高いと考えている。</p> <p>今後、更なる効果が出てくることを期待する。</p>	
備考		

申請事業名	あさみぞさくら植樹プロジェクト	[4]
申請団体	麻溝観光協会	
事業目的等	<p>事業概要 圏央道相模原愛川IC付近等へのさくらの木の植樹</p> <p>事業の目的 ・地域活動団体や地域住民の交流促進及び観光振興 ・子どもたちへの郷土愛の醸成及び親子植樹による親子の絆を深める</p>	
交付決定日	平成25年12月24日	
交付決定金額	228,000 円	(全体事業費 248,450 円)
団体実績報告	<p>事業実績 ・圏央道相模原愛川IC・本線の開通を記念しての植樹については、募集の4組に対して25組の応募があるなど、多くの親子に関心を持っていただくことができた。 ・植樹の当日も植樹関係者のほか、まちづくり会議委員、アダプトを実施していただく地元老人クラブの会員など多くの地域住民が見守るなか実施し、地域の人々が植樹を契機に郷土愛を再認識するきっかけとなったものとする。 ・IC以外にも麻溝小、夢の丘小の卒業生による学校への記念植樹のほか、観光名所である八景の棚、地区内の神社等にも植樹を行い、数年後には地区内の様々な場所で、同じ種類のオカメ桜の花が見られることとなり、麻溝地区のシンボリックな存在となると考える。</p> <p>自己評価 ・さくらの植樹を通じて、地域住民の麻溝地区への郷土愛の醸成が図られたとともに、地域の団体間の連携や共通の話題として、植樹場所の拡大のほか、桜を通じたさらなる事業の展開が期待できると考える。</p>	
市 評 価	<p>圏央道IC付近への桜の植樹などは麻溝地区ならではの発想であり、観光協会のみでの活動ではなく、地域にあるみどりの教会や地元の小学校の協力のほか、植樹後の維持管理を地元の老人クラブの協力により実施することは、今後の活動の広がりがきたいできるものとする。</p> <p>また、小学生が植樹に関わったことで、麻溝地区への郷土愛が生まれ、成長した時に地域への活動に参加していただけることを期待する。</p> <p>そして、この桜の木が麻溝地区のシンボルとなることを期待するものである。</p>	
備 考		

申請事業名	麻溝地区子育てマップ作成事業	[5]
申請団体	麻溝地区社会福祉協議会	
事業目的等	<p>事業概要</p> <p>麻溝地区の子育て情報がすぐに取り出せるようにするために、各種子育て情報を掲載したマップの作成</p> <p>事業の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の子育て情報の交換ができる場を広く情報提供し、子育ての孤立化を防ぐ。 ・病気などの緊急時に、すぐに対応するための情報提供。 	
交付決定日	平成26年 1月24日	
交付決定金額	142,000 円	(全体事業費 149,100 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・麻溝地区子育てマップ作成事業 <p>麻溝地区の子育て情報がすぐに取り出せるようにするため、各種子育て情報を掲載したマップを作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てマップ(2,000部)作成(3月) ・今後、地区内で行われている親子サロンでの配布のほか、まちづくりセンターに出生届等を提出にきた方などに広く配布する。 <p>自己評価</p> <p>地域の子育て情報をまとめたマップは、子育て支援として大変役立つものと考えている。今後も情報が集まりさらに充実していくことができると考えている。</p>	
市評価	<p>核家族化が進行している現状においては、子育て支援は、高齢者支援同様に重要課題と考える。</p> <p>その取り組みの一つとして、地域の子育て情報が集約されて、その位置などがすぐに分かるマップとして作成したことは、大変有効なことと考える。</p> <p>このマップが大いに活用され、さらに内容の充実が図られていくことを期待するものである。</p>	
備考		